



目 次

- ◆ [学会賞等の受賞等](#)
- ◆ [国際会議・シンポジウム等の開催](#)
 - 【数学部門】
 - [特別企画2010年札幌ミニセメスター「動く界面」](#)
 - [第35回偏微分方程式論札幌シンポジウム](#)
 - [第55回代数学シンポジウム](#)
 - [Universality and Scaling Limits in Probability and Statistical Mechanics](#)
 - 【生物科学部門】
 - [MOSS2010国際会議
\(The 13th Annual MOSS International Conference\)](#)
 - [国際特別シンポジウム
「ヒメツリガネゴケが拓く植物科学の最前線」](#)
- ◆ [外国人研究者等受入状況 \(2010.7.2~2010.10.1\)](#)
- ◆ [海外からの来訪者 \(短期滞在\) \(2010.7.2~2010.10.1\)](#)
- ◆ [学位授与 平成22年9月24日付け学位授与者](#)
- ◆ [人事異動 \(正規職員・非正規職員\)
\(平成22年7月2日~平成22年10月1日\)](#)

学会賞等の受賞等

【化学部門】

受賞者名	石坂 昌司, 和田 照秀, 鈴木 雄也, 喜多村 昇
学会賞等名	エアロゾル計測賞
授与団体名	日本エアロゾル学会
受賞年月日	2010年8月4日
受賞功績（受賞論文等名）	「エアロゾル微小水滴のレーザー捕捉・顕微分光」

【生物科学部門】

受賞者名	高橋 孝行
学会賞等名	日本動物学会賞
授与団体名	社団法人日本動物学会
受賞年月日	平成22年9月24日
受賞功績（受賞論文等名）	「メダカの排卵研究」の業績により、平成22年度の日本動物学会賞を受賞。メダカを用いて脊椎動物の排卵酵素を世界に先駆けて発見し、排卵のメカニズムの全容を明らかにした。またホルモンによる排卵制御のメカニズムの解明にも貢献するなど、脊椎動物における排卵機構の理解を著しく進展させた功績が高く評価された。

受賞者名	高野 義人, 堀口 健雄
学会賞等名	The Tyge Christensen Prize 2008
授与団体名	International Phycological Society
受賞年月日	平成22年7月21日
受賞功績（受賞論文等名）	Yoshihito Takano, Gert Hansen, Daisuke Fujita, and Takeo Horiguchi (2008) Serial Replacement of Diatom Endosymbionts in Two Freshwater Dinoflagellates, <i>Peridiniopsis</i> spp. (Peridinales, Dinophyceae). <i>Phycologia</i> 47: 41-53.

国際会議・シンポジウム等の開催

【数学部門】

○ 特別企画2010年札幌ミニセメスター「動く界面」

会議等名	特別企画2010年札幌ミニセメスター「動く界面」
主催団体名	北大数学部門（共催：北大数学連携研究センター，アメリカ工業応用数学会，Pacific Inst. for the Math. Sci.）
開催期間	平成22年7月12日～平成22年8月13日
開催地（会場）	北大理学部3号館，北大百年記念会館
出席人数	約150名
部門等での世話人	石井仁司（早大），儀我美一（東大），利根川吉廣（北大），舟木直久（東大），R.V. Kohn（ニューヨーク大），P. Rybka（ワルシャワ大）

日本学術振興会科学研究費補助金，基盤（S）‘複雑現象に挑む形態変動解析学の構築’（21224001）の活動の一環として，2010年7月～8月に「動く界面」のミニセメスターを設定し，動く界面に関係する様々な学際的国際会議，国際ワークショップ，チュートリアルセミナー等を企画しました。これらは

- （1）研究集会「Viscosity methods and nonlinear PDE」
2010年7月21日－2010年7月23日
- （2）学際的国際会議とチュートリアルセミナー「結晶成長の数学的側面」
2010年7月26日－2010年7月30日
- （3）国際ワークショップとチュートリアルセミナー「特異拡散と動く界面」
2010年8月2日－2010年8月6日

によって構成され，国内外の講演者と共に多くの海外若手研究者の参加がありました。プログラムなどの詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/minisemester/index.html>



○ 第35回偏微分方程式論札幌シンポジウム

会議等名	第35回偏微分方程式論札幌シンポジウム
主催団体名	北大数学部門
開催期間	平成22年8月23日～平成22年8月25日
開催地（会場）	北大理学部5号館大講堂（203室）
出席人数	81名
部門等での世話人	小澤徹（早大），儀我美一（東大），坂上貴之（北大）， 神保秀一（北大），高岡秀夫（北大），利根川吉廣（北大）， 津田谷公利（北大），中村玄（北大）

35年目になる偏微分方程式論札幌シンポジウムでは、毎回国内外からの顕著な業績を挙げている研究者による6～7つほどの1時間サーベイ講演を行うと共に講演後に長い討論時間を設け、研究者間の研究促進を図っています。今年はG. Ponce(UCSB) K. Svadlenka (金沢大) J.-C. Wei (Chinese Univ. Hong Kong) S. Wu (Univ. Michigan) M. Wunsch (京大) S. Zhong (京大) 大木谷耕司(Univ. Sheffield) 齊藤宣一(東大) 林仲夫(阪大) 宮本安人(東工大) 谷島賢二(学習院大) 米田剛 (Univ. Minnesota) の各氏による講演を行い、多くの国内外参加者との活発な議論が行われました。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/sapporo/program.html>



○ 第55回代数学シンポジウム

会議等名	第55回代数学シンポジウム
主催団体名	(社) 日本数学会 代数学分科会
開催期間	平成22年 8月 9日～平成22年8月12日
開催地 (会場)	北海道大学学術交流会館
出席人数	134名
部門等での世話人	寺尾宏明, 齋藤睦

標記のシンポジウムが2010年8月9～12日に北海道大学学術交流会館で行われました。

環論, 代数幾何, 整数論, 群論の順に各日5講演が行われ, そのうち, 午前の2講演は, 一般向け講演でした。参加者は, 合計134名 (内日本人: 131名, 外国人3名) でした。

詳細は, 下記サイトをご覧ください。

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/100809/>

○ Universality and Scaling Limits in Probability and Statistical Mechanics

会議等名	Universality and Scaling Limits in Probability and Statistical Mechanics
主催団体名	北海道大学創成研究機構
開催期間	平成22年8月30日～9月3日
開催地 (会場)	北大理学部3号館205号室
出席人数	約40名 (講演者, 外国人15名, 日本人9名, 計24名)
部門等での世話人	坂井 哲 (北大)

確率論・統計力学の分野で長いあいだ問題になっている「普遍性」と、それに付随する極限定理の問題に取り組む若手研究者を世界各国から招聘し、最先端の意見交換を行なうとともに、次世代を担う研究者どうしのネットワークを形成するための国際研究集会を開催した。

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~sakai/L-Stat2010.html>

この研究集会は、翌週（平成22年9月6日～10日）開催された国際会議 "34th Conference on Stochastic Processes and their Applications" のサテライト会議でもあった。



【生物科学部門】

○ MOSS2010国際会議 (The 13th Annual MOSS International Conference)

会議等名	MOSS2010国際会議 (The 13th Annual MOSS International Conference)
主催団体名	北海道大学理学研究院
開催期間	2010年7月21-24日
開催地（会場）	支笏湖水の譚および北海道大学農学部大講堂
出席人数	79名
部門等での世話人	藤田知道

○ 国際特別シンポジウム「ヒメツリガネゴケが拓く植物科学の最前線」

会議等名	国際特別シンポジウム「ヒメツリガネゴケが拓く植物科学の最前線」
主催団体名	北海道大学理学研究院
開催期間	2010年7月23日
開催地（会場）	北海道大学農学部大講堂
出席人数	110名
部門等での世話人	藤田知道

外国人研究者等受入状況

期間：2010年7月2日～2010年10月1日

【受入部門名：生物科学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2010.08.03 -2010.10.30	スリランカ：ペラデニア大学 講師 サナット・ラジャパクセ	「メダカシクロオキシゲナーゼの解析と排卵に おける役割に関する研究」を実施 【日本学術振興会事業・高橋孝行】

海外からの来訪者(短期滞在)

期間：2010年7月2日～2010年10月1日

【受入部門名：数学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2010.07.11 -2010.07.25	中国： Zhejiang Normal University 教授 Yong Zhou	研究打合せ (中村 玄)
2010.07.11 -2010.08.14	ポーランド： University of Warsaw 准教授 Piotr Rybka	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.19 -2010.07.25	韓国： Namseoul University 教授 Jinho Park	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	カナダ： Simon Fraser University 准教授 Adam Oberman	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	韓国： Seoul National University 教授 Ki-Ahm Lee	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	アメリカ： The University of Chicago 教授 Panagiotis E. Souganidis	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	アメリカ： Georgia Institute of Technology 教授 Andrzej Swiech	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	アメリカ： UCLA 准教授 Inwon C. Kim	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	フランス： Institut de Mathématiques de Toulouse 教授 Jean-Michel Roquejoffre	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	フランス： École nationale des ponts et chaussées 教授(研究科学者) Claude L. Bris	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.20 -2010.07.24	フランス： Institut de Recherche Mathématique de Rennes 教授 Olivier Ley	研究打合せ (利根川吉廣)

2010.07.20 -2010.7.25	アメリカ：The University of Chicago 准教授 Scott N. Armstrong	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.21 -2010.07.30	ポルトガル：Universidade de Aveiro 助教 Eugenio Rocha	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.21 -2010.08.06	イタリア：Università degli Studi di Napoli Federico II PD 長瀬優子	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.21 -2010.08.09	カナダ [※] ：University of Calgary PD Illia Karabash	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.21 -2010.08.15	中国：Zhejiang University 教授 Jian Zhai	研究打合せ (神保秀一)
2010.07.23 -2010.08.01	アメリカ：University of Maryland 准教授 Dionisios Margetis	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.23 -2010.08.06	カナダ：The University of British Columbia PD研究員 (PIMS) Mohammad El Smaily	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.24 -2010.07.31	ドイツ：Technische Universität München PD Yuen Au Yeung	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.24 -2010.08.06	カナダ：The University of British Columbia PD Sarah Hormozi	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.24 -2010.08.07	アメリカ：The University of Texas at Austin 講師 Maria Guldani	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.24 -2010.08.07	アメリカ：The University of Texas at Austin 准教授 Yen-His Richard Tsai	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.25 -2010.07.31	韓国：Korea University 准教授 Chan Woo Yang	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.25 -2010.07.31	アメリカ：University of California Los Angeles 教授 Russel E. Caflisch	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.25 -2010.07.31	フランス：Cermics École des Ponts ParisTech (ENPC) 研究員 Régis Monneau	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.25 -2010.07.31	カナダ：Simon Fraser University PD研究員	研究打合せ (利根川吉廣)

	Harun Kurkcu	
2010.07.25 -2010.08.01	アメリカ：University of Houston 教授 Peter G. Vekilov	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.27 -2010.08.07	スペイン：Universitat de València 教授 José M. Mazón	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.25 -2010.08.07	イタリア：Università degli Studi di Roma Tor Vergata 教授 Giovanni Bellettini	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.25 -2010.08.15	中国：Southeast University 院生 Wang Haibing	研究打合せ (中村 玄)
2010.07.26 -2010.08.01	アメリカ：Ames Laboratory (米国エネルギー省国家研究所) 教授 James W. Evans	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.26 -2010.08.06	ドイツ：Universität Regensburg 教授 Harald Garcke	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.27 -2010.08.05	ポーランド：Uniwersytet Warszawski 准教授 Piotr Mucha	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.07.29 -2010.07.30	中国：Xi'AN University of Architecture and Technology 教授 Bianping Su	研究打合せ (神保秀一)
2010.07.31 -2010.08.07	アメリカ：University of Pittsburgh 教授 Juan J. Manfredi	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.01 -2010.08.07	アメリカ：Duke University 教授 William Allard	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.01 -2010.08.08	カナダ：University of Toronto PD Marina Chugunova	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.01 -2010.08.08	台湾：National Taiwan Normal University (8/1まで) Tamkang University (8/1~) 教授 Jong-Shenq Guo	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.01 -2010.08.10	ドイツ：Leibniz Universität Hannover PD Daniela Treutler	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.01 -2010.08.10	カナダ：Simon Fraser University DC	研究打合せ (利根川吉廣)

	Benjamin Crestel	
2010.08.06 -2010.08.06	カナダ：The University of British Columbia 教授 James J. Feng	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.17 -2010.08.31	台湾：National Cheng Kung University 准教授 Ching-Lu Lin	研究打合せ (中村 玄)
2010.08.21 -2010.08.26	アメリカ：University of California, Santa Barbara 教授 Gustavo Ponce	研究打合せ (高岡秀夫)
2010.08.21 -2010.08.26	中国：The Chinese University of Hong Kong 教授 Juncheng Wei	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.21 -2010.08.27	アメリカ：University of Michigan 教授 Sijue Wu	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.22 -2010.08.25	アメリカ：University of Minnesota 研究員 (ポスドク) 米田 剛	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.22 -2010.08.26	台湾：National Chung Cheng University 准教授 Shu-Yu Hsu	研究打合せ (利根川吉廣)
2010.08.22 -2010.08.27	イギリス：The University of Sheffield 教授 大木谷 耕司	研究打合せ (坂上貴之)
2010.08.22 -2010.08.29	イタリア：Università degli Studi di Padova PD Giovanni Morando	研究打合せ (本多尚文)
2010.08.29 -2010.09.03	韓国：KIAS Research Fellow 瀧 真語	研究打合せ (松下大介)

【受入部門名：化学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2010.07.26 -2010.08.06	フランス：ストラスブルグ大学 教授 Petra Hellwig	ストラスブルグ大学との協定に基づく研究者の交換訪問 (加藤昌子)

【受入部門名：自然史科学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2010.06.09	フランス：パリ地球物理学研究所	研究打合せ, 特別セミナー

-2010.06.11	教授 Jean-Paul Montagner	(吉澤和範)
2010.07.26 -2010.07.27	米国・カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授 Paul M. Davis	研究打合せ, 特別セミナー (吉澤和範)

【受入部門名：生物科学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2010.07.20 -2010.08.06	米国：ハワイ大学 名誉教授 柳町隆造	節足動物の生殖に関する研 究のため (高橋孝行)

学位授与

平成22年9月24日付け学位授与者

【課程博士】（理学院 9名）

伊藤 亮孝（化学専攻）

Synthesis and Photophysical Properties of Novel Emission Sensors for Biomolecules
(生体分子に対する新規発光性センサーの合成および光化学物性に関する研究)

主査 教授 喜多村 昇

鎌田 瑠泉（化学専攻）

Study on Tetramer Formation and Functional Regulation of Tumor Suppressor Protein p53
(癌抑制タンパク質 p53 の四量体形成と機能制御に関する研究)

主査 教授 坂口 和靖

坂本 光一（化学専攻）

Structure-Function Relationship of Cytochrome *c* in the Respiratory Chain
(呼吸鎖におけるシトクロム *c* の構造機能相関の解明)

主査 教授 石森 浩一郎

椎名 康裕（化学専攻）

Asymmetric Total Synthesis of Glycinoeclepin A and B
(グリシノエクレピンAおよびBの不斉全合成)

主査 教授 谷野 圭持

福田 耕一郎（化学専攻）

Synthesis and Application of Optically Active 2-Silyl-3-alken-1-ols
(光学活性 2-シリル-3-アルケン-1-オール誘導体の合成とその応用)

主査 教授 谷野 圭持

福満 仁志（化学専攻）

Structure and Functions of Pt Nanoclusters Incorporated to Organic Molecular Layers and CeO₂
(有機分子層およびセリアに固定した白金ナノクラスターの構造と機能)

主査 客員教授 魚崎 浩平

中西 真大（量子理学専攻）

Glass Transition of Polyhydric Alcohols
(多価アルコールのガラス転移)

主査 准教授 野寄 龍介

Aditya Riadi GUSMAN（自然史科学専攻）

Source process determinations of Recent and Historical Tsunamigenic Earthquakes using Tsunami Waveforms, Tsunami Inundation data, Tsunami Deposits, and InSAR data
(津波波形・津波遡上データ・津波堆積物・InSAR データを利用した最近及び歴史的な津波発生地震の震源過程解析)

主査 教授 谷岡 勇市郎

楊 晶晶（生命理学専攻）

A Study on the Effect of Hydrogel Scaffolds on the Behavior and Fate of Human Cells
(ハイドロゲルの物性によるヒト細胞の挙動と運命の制御)

主査 教授 龔 劍萍

【課程博士】（理学研究科 2名）

三田地 克彦（化学専攻）

Synthetic Studies on Terpenoids on the Basis of Higher Order Cycloaddition Reactions
（高次付加環化反応を基軸とするテルペノイドの全合成研究）

主査 教授 谷野 圭持

太田 有理（生物科学専攻）

Taxonomy and Molecular Phylogeny of the Phytophagous Ladybird Beetles, the *Epilachna alternans* Species Complex (Coleoptera: Coccinellidae: Epilachninae), radiated in Southeast Asia
（東南アジアで放散した食植性テントウムシ *Epilachna alternans* 種群（コウチュウ目テントウムシ科マダラテントウムシ科）の分類および分子系統解析）

主査 教授 片倉 晴雄

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

人事異動

対象期間：平成22年7月2日～平成22年10月1日

<正規職員>

平成22年8月31日付け発令

(辞職)

数学部門 准教授

津田谷 公 利

(平成22年4月1日付け弘前大学工学研究科 教授へ)

平成22年9月1日付け発令

(採用)

数学部門 助教

齋 木 吉 隆

(本研究院博士研究員から)

平成22年9月16日付け発令

(採用)

物理学部門電子物性物理学分野

延 兼 啓 純

(旭川医科大学助教から)

平成22年10月1日付け発令

(転出)

化学部門有機・生命科学分野 准教授

伊 藤 肇

(工学研究院教授へ)

主任 (人事担当)

武 藤 幹 夫

(総務部職員課主任 (共済担当) へ)

会計担当

谷 口 雄 郎

(財務部調達課 (第二役務契約担当) へ)

教務担当

下 條 春 香

(工学系事務部教務課 (情報学研究科事務室教務担当) へ)

研究協力担当

瀧 川 翼

(企画部調査分析課 (業務分析担当) へ)

(採用)

物理学部門電子物性物理学分野 助教

井 原 慶 彦

(京都大学大学院理学研究科特定研究員から)

人事担当

高 橋 絢 子

(新規採用)

会計担当 (新規採用)	倉澤佳央
教務担当 (新規採用)	菅原由紀子
研究協力担当 (新規採用)	加藤隆之
事務補助員 (新規採用)	牧田静香
(昇任) 自然史科学部門地球惑星システム分野 准教授 (同分野助教から)	永井隆哉
(転入) 庶務担当 (病院総務課(労務管理担当)から)	巖城素子
教務担当 (工学系事務部教務課(学部担当)から)	五十嵐猛朗
(配置換) 主任(博物館担当) (主任(庶務担当)から)	成田佳子

<非常勤職員>

(採用, 配置換)

H22. 8. 1	数学学部門	学術研究員	長瀬 優子
H22. 8. 1	生物科学部門	事務補助員	法月 佳恵
H22. 8.23	物理学部門	技術補助員	保田 悠紀
H22. 9. 1	化学部門	博士研究員	野村 尚生
H22. 9. 1	化学部門	技術補助員	多門 理恵
H22. 9. 1	物理学部門	特任助教	朴 銀鏡
H22. 10.1	自然史科学部門	特任助教	マリ ピトン
H22. 10.1	自然史科学部門	事務補助員	七戸 春香

(任期满了退職, 辞職, 転出)

H22. 7.30	化学部門	博士研究員	ブライエフ コンスタンチン
H22. 7.31	化学部門	技術補助員	浅野 陽子
H22. 7.31	自然史科学部門	技術補助員	佐藤 純子
H22. 7.31	生物科学部門	学術研究員	小俣 友輝
H22. 7.31	生物科学部門	事務補助員	川村 いぶき
H22. 8.31	数学部門	博士研究員	ジョバンニ ピサンテ
H22. 8.31	数学部門	技術補助員	川原田 茜
H22. 8.31	自然史科学部門	学術研究員	島村 道代